

国際支援

International support

国際的に活躍できるエンジニアを育成するために

工学部および工学系大学院(工学院・情報科学院・総合化学院)では、グローバルに活躍できるエンジニアの育成を目指して、海外留学・海外インターンシップを積極的に支援しています。大学院工学院では、すべての授業や研究

指導を英語で行う「工学分野リーダー育成英語特別コース」を設置しており、多くの留学生とともに学ぶことができます。また、海外から多くの留学生を受け入れており、学内で国際交流できる機会がたくさんあります。

海外で研究してみたい!!

工学系教育研究センター(CEED)の海外インターンシップ支援事業

工学部および工学系大学院(工学院・情報科学院・総合化学院)では、毎年多くの学生が、海外の大学や企業において約1〜3か月のインターンシップを経験しています。この経費を工学系大学院が独自に設置した工学系教育研究センター(CEED)が支援しています。



<https://www.ceed.eng.hokudai.ac.jp/>

インターンシップ経験者の声

フランスでの経験

フランス・機械航空高等国立大学(ENSM)で、2019年8月12月の4ヶ月間、インターンシップ生として「固体物質の熱分解モデルへの感度分析の適用」というテーマで研究を行いました。シミュレーションが主な研究だったのですが、私は日本では実験メインの研究をしていたためやることなすこと全て初めてでした。そんなこともあり最初は不安に駆られました。が、わからないことは積極的に質問したり関連論文を自分で探して読んだりなど主体的に行動を起こしていけば研究自体は問題なく進めることができました。英語で

佐藤 宏樹さん

工学院機械宇宙工学専攻

2018年3月 工学部 機械知能工学科 機械情報コース 卒業

2020年3月 大学院工学院 機械宇宙工学専攻 修士課程 修了

のコミュニケーションについて、私は週に一回ほど担当の教授に進捗状況を報告する機会がありました。私は英語はそこまで得意ではないのですが、どうにか伝えようとする気持ちとBroken Englishがあれば意思疎通は問題なくはかれました。英語に少し自信がなくて海外インターンシップをためらっている人にはぜひ挑戦してほしいです。日本から遠く離れた地で生活してみて、異なる文化や習慣に触れたことは貴重な経験になりました。仕事の進め方はかなり日本と違うところもあり、この経験は将来どこかで役に立つの



フランスで出会った友人たち

ではないかと思っています。学生のうちに海外で研究や勉強をして視野を広げることは将来の自分の進路を考える上で非常に役立つことだと思うので少しでも行ってみたいと思っている人はぜひチャレンジしてみてください。

就職支援

Career support

就職に強い工学部!

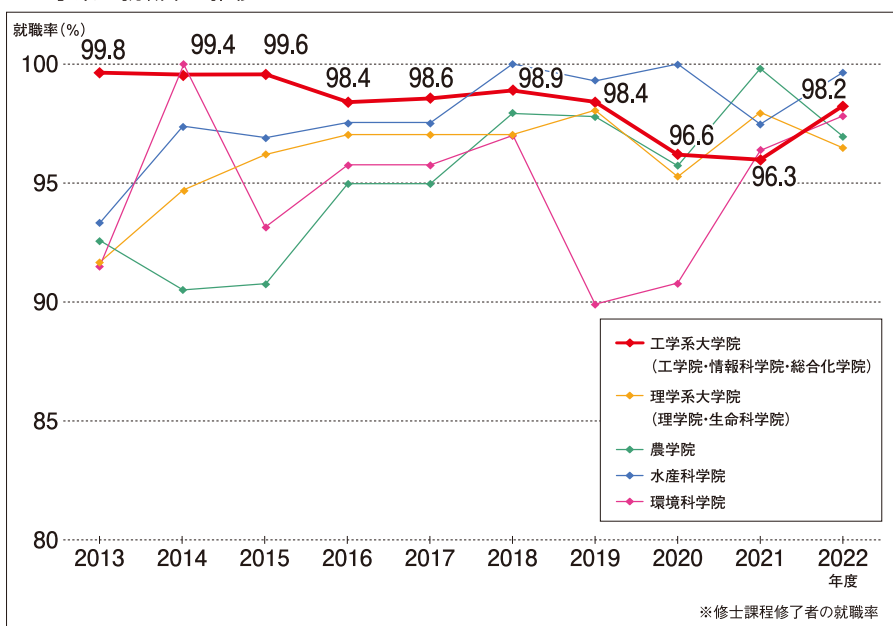
北海道大学工学部・工学系大学院の就職率は常に96%以上! 景気に左右されず、安定した就職率の高さを誇っています。工学部では、社会で役立つ高度な専門知識が身につけられることに加えて、学科・コースごとに就職担当教員が配置され、就職支援体制がしっかりしていることもその理由の1つです。皆さんも、工学部で専門知識を身に付け、社会に貢献してみませんか?

96%以上! 不況に強い!! 安定した就職率の高さ!!

就職率の推移&卒業・修了者就職状況

— 就職DATA2022 —

■工学系の就職率の推移



日本で世界中の学生とともに学べる!!

工学分野リーダー育成英語特別コース(e³プログラム)

<http://www.eng.hokudai.ac.jp/e3/>

大学院工学院の工学分野リーダー育成英語特別コース(English Engineering Education Program/略称e³プログラム)は、英語を使用言語として修士および博士の学位が取得できるプログラムです。一定の英語力さえあれば、世界各国の留学生とともに120を超えるバラエティーに富んだ英語での講義を受けることができます。



修了生の声

かけがえのない経験を通して 大きく成長した自分に出会う

相川 公政さん

2019年3月 工学部 環境社会工学科 資源循環システムコース 卒業
2021年3月 大学院工学院 環境循環システム専攻 修士課程 修了
2023年3月 大学院工学院 環境循環システム専攻 博士後期課程 修了

大学生活を振り返ると、e³プログラムでしか経験し得ない、貴重な時間を過ごすことができたと感じます。英語での講義で自身の能力を高めることに加えて、世界各国の留学生と交流し、生涯にわたるかけがえのないネットワークを構築できることこそ、e³プログラムの最大の魅力だと思います。e³プログラムに所属しなければ出会えなかった留学生たちと、課題に取り組む中でさまざまな意見を交わしたり、他愛もない話で笑い合ったりすることでお互いの仲が深まりました。このような交流を通してお互いの価値観に深く触れることで、多様な文化・背景が理解できたとともに、知らず知らずのうちに凝り固まって狭くなっていた視野が、世界に

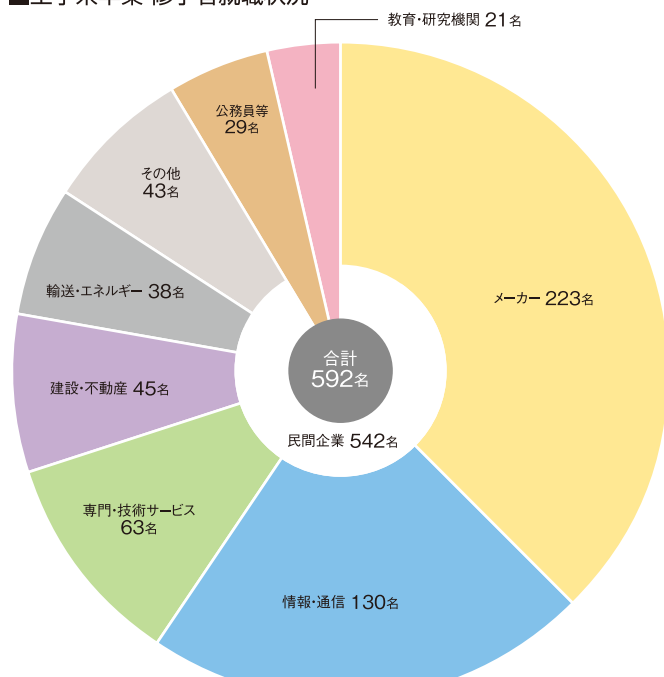


ある年のクリスマスパーティーにて(*コロナ前)

向けて大きく広がっていきました。「お互いを理解するためにはコミュニケーションが重要である」という当たり前のことを実感するとともに、育った文化・背景が異なっても、母国語

が異なっても、英語を介してコミュニケーションが取れることの楽しさ・喜びを知り、一回りも二回りも大きく成長した新たな自分に出会うことができたことも大きな財産です。

■工学系卒業・修了者就職状況



※上記データは、令和4年度に工学部及び工学系大学院(工学院・情報科学研究科・総合化学院(工学系))を卒業・修了し、就職した者の就職先を集計したものです。

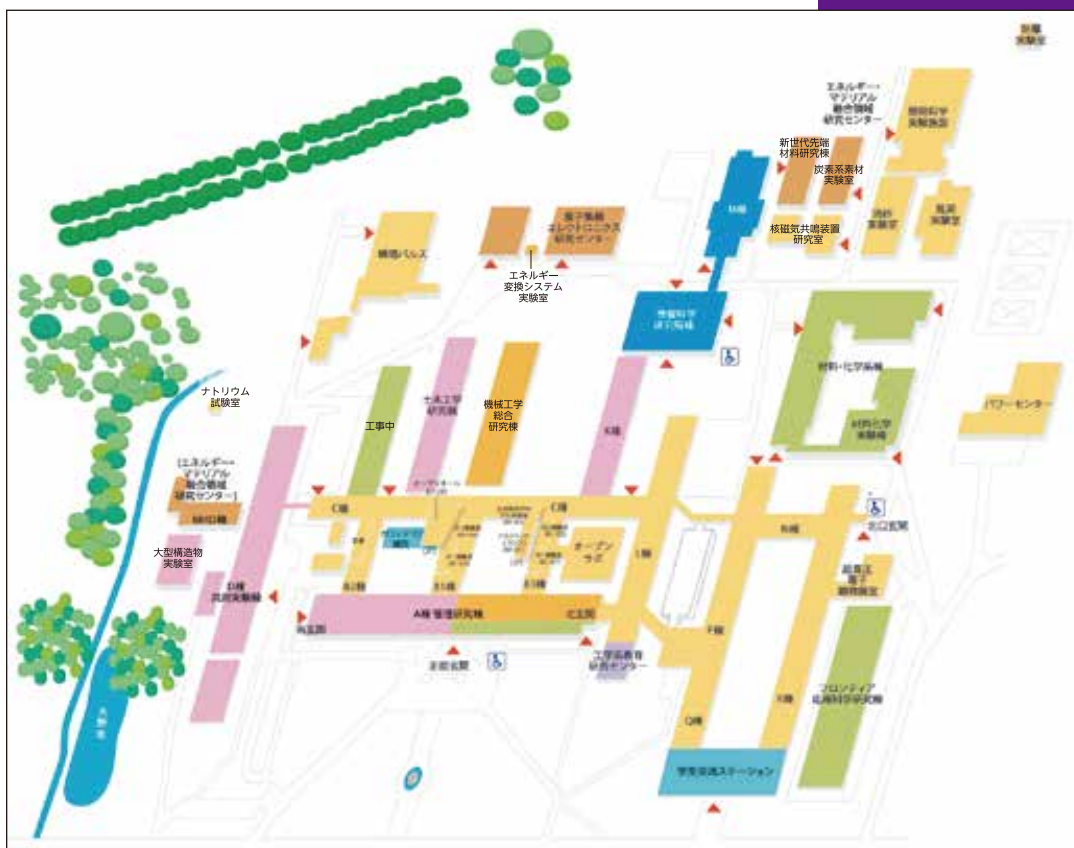
工学部の就職支援体制

工学部・工学系大学院では工学系の学生に特化した多彩な就職対策セミナーや学内合同説明会のほか、各学科・コースにおいても独自にセミナーや就職指導ガイダンス等を実施しています。約6割の学生が大学推薦制度を利用して就職活動を行うため、エントリーシートの提出数や面接回数が少なく、就職活動期間が比較的短いのが工学系の特徴です。研究と就職活動を両立しやすい環境が整っています。

工学系就職先TOP 17

工学系の民間企業就職者のうち、**約30%が下記企業に就職!!**

1位 (10人)	・日鉄ソリューションズ		・本田技研工業	
3位 (9人)	北海道電力			
4位 (8人)	・アクセンチュア ・NTTドコモ ・KDDI ・野村総合研究所			
8位 (各7人)		12位 (各6人)		
・国土交通省		・IHI		・東京エレクトロン
・日産自動車		・住友電気工業		・日立製作所
・北海道大学		・DMG MORI Digital		
17位 (各5人)				
・札幌市役所		・大成建設	・中部電力	・富士通
・ヤフー				



北海道大学工学部

www.eng.hokudai.ac.jp

入試に関する問い合わせ先

〒060-0817 札幌市北区北17条西8丁目
北海道大学アドミッションセンター入学相談室窓口
TEL 011-706-7484(窓口受付)
E-mail admission@academic.hokudai.ac.jp
<http://www.hokudai.ac.jp/admission/>

工学部に関する問い合わせ先

〒060-8628 札幌市北区北13条西8丁目
北海道大学工学系事務部教務課
TEL 011-706-6119/6120
E-mail kyomuka@eng.hokudai.ac.jp

資料請求

北大工学部のことをもっと知りたい! という方は、
以下のサイトから資料請求してください。
<https://www.eng.hokudai.ac.jp/delivery/>

